

取扱説明書

CD/USB/SD/ チューナーメインユニット

DEH-780



Made for



iPod



iPhone

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をさせていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

はじめに

基本操作

CDを
聞く

ラジオを
聞く

USB/SD
を聞く

iPodを
聞く

アプリを
操作する

音の調節

初期
システム
設定

便利な機能

接続
取り付け

付録

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

AU-001-001

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V⊕アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対不使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前にも、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。



注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしなない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

警告



画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコー
ドや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火
災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることが
あります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手
の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表
示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

警告



強制

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれいな
水で洗ったあと、ただちに医師にご相談さ
ださい。

注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加
熱をしたり、火や水の中に入れない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原
因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることが
あります。

指定以外の電池の使用や、新しい電
池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となること
があります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原
因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

はじめに.....7

本機の特徴.....7	7
多様なメディアと圧縮フォーマットに対応.....7	7
USB 機器の接続.....7	7
SD カードの使用.....7	7
iPod の接続.....7	7
バッテリー上がりを防ぐために.....7	7
電源のON / OFFと最初の設定.....7	7
リモコンの準備.....8	8
電池交換のしかた.....8	8
フロントパネルの取り外しかた / 取り付けかた.....8	8
フロントパネルの取り外しかた.....8	8
フロントパネルの取り付けかた.....8	8
ディスクの入れかた / 取り出しかた.....9	9
SDの入れかた / 取り出しかた.....9	9

基本操作.....10

各部のなまえと主な働き.....10	10
本体.....10	10
リモコン.....12	12
ディスプレイ.....12	12
ソース切り換え.....13	13
フォルダー / アルバム / 放送局の選択.....13	13
曲 / チャプターの選択.....13	13
早送り / 早戻し.....14	14
ファンクションメニューの操作.....14	14

CDを聞く.....15

タイトルやアーティスト名を表示する.....15	15
タイトルから曲やフォルダーをさがす.....15	15
繰り返し再生する.....15	15
違う曲順で再生する.....16	16
再生を一時停止する.....16	16
音を補正して高音質化する.....16	16

ラジオを聞く.....17

放送局を1局ずつ登録する.....17	17
放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す.....17	17
複数の放送局を自動的に登録する.....17	17
放送局名を選ぶ.....17	17
レバーの動作を設定する.....17	17

USB / SDを聞く.....18

再生中の曲にリンクした曲を再生する.....18	18
繰り返し再生する.....18	18

タイトルやアーティスト名を表示する.....18	18
タイトルから曲やフォルダーをさがす.....18	18
聞きたい曲をさがす.....18	18
リスト表示をアルファベットで検索する.....19	19
再生を一時停止する.....19	19
音を補正して高音質化する.....19	19

iPodを聞く.....19

聞きたい曲をさがす.....19	19
リスト表示をアルファベットで検索する.....20	20
タイトルやアーティスト名を表示する.....20	20
iPodで選曲して本機から再生する.....20	20
繰り返し再生する.....20	20
違う曲順で再生する.....20	20
すべての曲をシャッフルしてから再生する.....20	20
再生中の曲にリンクした曲を再生する.....21	21
再生を一時停止する.....21	21
オーディオブックの再生速度を変更する.....21	21
音を補正して高音質化する.....21	21

アプリを操作する.....21

再生を一時停止する.....21	21
音を補正して高音質化する.....21	21

音の調節.....22

オーディオメニューを切り換える.....22	22
前後左右の音量バランスを調節する.....22	22
イコライザーカーブを選ぶ.....22	22
イコライザーカーブを調節する.....22	22
小さな音量でも聞きやすくする.....23	23
サブウーファーを使う.....23	23
サブウーファーのOFF / 位相切り換え.....23	23
サブウーファーの カットオフ周波数選択とレベル調節.....23	23
低い音を強調する.....24	24
低い音を出さないようにする.....24	24
各ソースの音量をそろえる.....24	24

初期 / システム設定.....25

初期設定メニューを切り換える.....25	25
リアスピーカー出力を設定する.....25	25
システムメニューを切り換える.....25	25
日付を合わせる.....25	25
時計を合わせる.....25	25
本機の使用時間を知らせる.....25	25
Music プラウズ機能を設定する.....26	26
フロントパネルの外し忘れを警告する.....26	26
外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする.....26	26
夜間のディスプレイの明るさを切り換える.....26	26
ディスプレイのコントラストを調節する.....26	26
ミュート / アッテネートを切り換える.....27	27
スクロールの設定を切り換える.....27	27

便利な機能..... 27

MIXTRAX機能をON / OFFする.....	27
MIXTRAXメニューを切り換える.....	27
曲の再生時間を切り換える.....	27
点滅エリアを切り換える.....	28
点滅パターンを切り換える.....	28
画面演出を設定する.....	28
効果音を設定する.....	28
効果音の効果を設定する.....	28
エンタテインメントメニューを切り換える.....	29
背景画面を設定する.....	29
時計表示を切り換える.....	30
イルミネーションメニューを切り換える.....	30
ボタンの色を選ぶ.....	30
ディスプレイの色を選ぶ.....	30
ボタンとディスプレイの色を選ぶ.....	30
ボタンとディスプレイの色を調節する.....	31

接続／取り付け..... 31

接続／取り付け上のご注意.....	31
接続／取り付け部品を確認する.....	31
本体関係.....	31
コード関係.....	31
取り付けの前に知ってほしいこと.....	31
取り付け上のご注意.....	31
取り付けのポイント.....	32
接続の前に知ってほしいこと.....	32
接続上のご注意.....	32
接続のポイント.....	32
コネクター着脱のポイント.....	32
バッテリー交換時のご注意.....	32
サブウーファーの設定について.....	33
接続する.....	34
本機のスピーカーリード線に リアスピーカーを接続する場合.....	34
本機のスピーカーリード線に サブウーファーを接続する場合 (1).....	36
本機のスピーカーリード線に サブウーファーを接続する場合 (2).....	36
本機のスピーカーリード線に サブウーファーを接続する場合 (3).....	37
本体を取り付ける.....	38
フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた.....	38
動作を確認する.....	38

付録..... 39

再生可能なメディアとファイルについて.....	39
メディア内のフォルダー構成について.....	40
ディスクについて.....	40
取り扱い上のご注意.....	40
お手入れについて.....	40
保管上のご注意.....	41

ディスク再生の環境について.....	41
使用できないディスクについて.....	41
再生できないディスクについて.....	41
USB機器について.....	41
本機との接続について.....	41
保管上のご注意.....	41
SDカードについて.....	41
取り扱い上のご注意.....	42
保管上のご注意.....	42
iPodについて.....	42
本機が対応する iPod.....	42
iPod の設定について.....	42
故障かな？と思ったら.....	43
共通項目.....	43
ラジオ.....	43
CD、WMA / MP3 / AAC / WAV.....	44
AUX.....	44
こんなメッセージが表示されたら.....	44
共通のエラー表示.....	44
CD、WMA / MP3 / AAC / WAV のエラー表示.....	44
USB のエラー表示.....	44
SD カードのエラー表示.....	45
iPod のエラー表示.....	45
保証書とアフターサービス.....	46
保証書.....	46
保証期間.....	46
修理について.....	46
補修用性能部品の最低保有期間.....	46
ご質問、ご相談は.....	46
商標／著作権など.....	46
主な仕様.....	47

はじめに

本機の特徴

■多様なメディアと圧縮フォーマットに対応

音楽 CD のほか、次のメディアに収録した圧縮オーディオファイルを再生できます。

CD-R/CD-RW / USB ポータブルオーディオプレーヤー / USB メモリー / SD カード / SDHC カード / miniSD カード / microSD カード (アダプター使用時)

対応する圧縮フォーマットは、次のとおりです。

WMA / MP3 / AAC / WAV

対応とご注意について詳しくは、**P39** をご覧ください。

また、iPod の接続にも対応しています。

さらに、圧縮フォーマットの楽曲の音を補正する機能として、「アドバンスド・サウンドトリバー」を搭載しています。この機能により、高音質での再生が可能になります。

■USB 機器の接続

USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB Mass Storage Class 対応の USB メモリーに収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。

対応する USB 機器や接続時のご注意については、**P41** をご覧ください。

■SD カードの使用

本機は以下の SD カードに対応しています。

SD カード

SDHC カード

miniSD カード、microSD カード (市販されている専用のアダプターが必要です)

SD カード使用時のご注意などについては、**P41** をご覧ください。



本書では、SD カード、SDHC カード、miniSD カード、および microSD カードを、便宜上「SD カード」と表記しています。

■iPod の接続

iPod を付属の USB 接続ケーブルで接続して操作できます。本機側からの操作はもちろん、iPod 側からの操作も可能で、スムーズな選曲が実現できます。再生中の iPhone または iPod touch のアプリケーションを、本機で操作することもできます。

対応する iPod や接続時のご注意については、**P42** をご覧ください。



本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON (または ACC) にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



バッテリー上がりで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー (→ **P17**)、カレンダー設定 (→ **P25**)、時計 (→ **P25**)、オーディオ調整 (→ **P22**) などの設定内容は消去されます。消去された場合は、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。

電源の ON / OFF と最初の設定

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

1 電源をONにする

SRC/OFF ボタン (→ **P10**) を押します。

2 セットアップメニューを実行する

ディスプレイに「Set up 開始」と表示されたら、ロータリーコマンド (→ **P10**) を回して YES を選び、ロータリーコマンドを押します。



セットアップメニューを実行しない場合は、NO を選びます。
NO を選んだときや、約 30 秒間何も操作せずにセットアップメニューが解除されたときは、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、システムメニューで設定してください (→ **P25**)。

3 各メニューを設定する

ロータリーコマンドを回して調節を行い、押して決定します。最後の項目を決定すると、次のようにメニューが切り換わります。

カレンダー設定→時計調整→コントラスト 07

- 前のメニューに戻るには、**↩/DISP** ボタン (→ P10) を押します。

4 セットアップメニューを終了する

ディスプレイに「Set up 終了」と表示されたら、ロータリーコマンドを回して YES を選び、ロータリーコマンドを押します。

- 設定画面に戻る場合は、NO を選びます。

5 電源をOFFにする

SRC/OFF ボタンを押します。

リモコンの準備

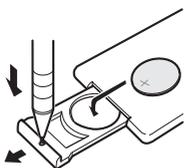
付属のリモコンを使うための準備です。

電池はあらかじめセットされています。電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてお使いください。

リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

■ 電池交換のしかた

リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出して古い電池を取り出します。新しいリチウム電池 (CR2025) は、+側を上にしてセットします。



- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す (デタッチ) ことができます。

- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その際、フロントパネルおよび本体の端子部には触らないでください。接触不良の原因となることがあります。
- デタッチを行うときは、フロントパネルから AUX ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全のため、停車してからデタッチを行ってください。

■ フロントパネルの取り外しかた

1 デタッチボタンを押して、ロックを解除する

2 フロントパネルの右側を上げ (I)、手前に引いて取り外す (II)

フロントパネルが外れます。



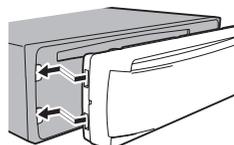
3 フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。

■ フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください。

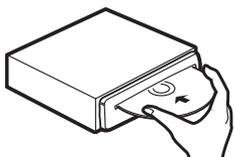


- 2 フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける



ディスクの入れかた／取り出しかた

- 1 レーベル面を上にして、CD挿入口に差し込む



取り出すときは、▲ ボタン(→P10)を押します。CDが出てきます。

- CD 挿入口には、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 「CD TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスクでは、ディスクタイトル、曲名などを表示できます(→P15)。表示を切り換えている場合は、ディスクを挿入したときや、ソースをCDに切り換えたときなどに、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- 本機は、挿入されたディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- 圧縮オーディオファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND/◀▶ ボタンを押します。再生は、それぞれ先頭の曲から始まります。
- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD 挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- ▲ ボタンを押してCD再生をやめたときは、自動的に本機の電源がOFFになります。
- 電源がOFFでも、▲ ボタンを押してCDを取り出せます。
- CD/CD-R/CD-RW を使用するときのご注意については、P40をご覧ください。

SD の入れかた／取り出しかた

- 1 フロントパネルを本体から取り外す(→P8)
- 2 ラベル面を上にして、SDカードスロットに挿入する



取り外すときは、「カチッ」と音がするまでSDカードを押し込んで離します。SDカードが押し出されます。

- SDカードは中央部をゆっくりと押し、まっすぐ取り出してください。
- 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

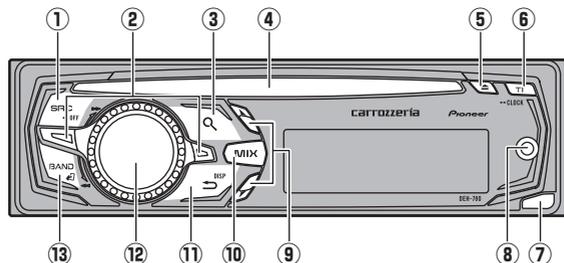
- 3 フロントパネルを本体に取り付ける(→P8)

- 対応するSDカードをお使いください。ただし、対応するSDカードでも正しく動作しない場合があります(→P41)。
- SDカードを使用するときのご注意については、P41をご覧ください。

基本操作

各部のなまえと主な働き

■ 本体



① SRC/OFF ボタン

押すと、電源が ON になります。

長く押すと、電源が OFF になります。

電源 ON のときは、押すごとにソースが切り換わります (→ P13)。

- ディスクを CD 挿入口に差し込んだり、USB や iPod を接続した場合も、電源が ON になります。
- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります (→ P34)。また、オートアンテナ車のアンテナを下げる場合は、電源を OFF にしてください。
- 時計を表示させている場合、電源が OFF でもカレンダー、時計を表示します。

② レバー

ラジオ受信時：

プリセットチャンネル(放送局)を切り換えます。

放送局を手動で選局する(周波数を順番に送る)場合は、レバーの動作設定をマニュアル シーク(手動選局)に設定します (→ P17)。

マニュアル シークに設定後は、左右に約 0.5 秒以上回して離すことで、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。

レバーを左右に回し続けた場合は、途中の放送局を飛ばし、離れたところから自動選局を開始します。

CD / USB / SD / iPod / Apps 再生時：

曲を切り換えます。

左右に約 0.5 秒以上回して離すと、早送り / 早戻しを行います。(USB / SD / iPod / Apps 再生時は、左右に回し続けます。)

- 早送り / 早戻ししているときには、音声は出力されません。

リストやメニュー画面を表示しているとき：
項目を選択します。

③ Q ボタン

ラジオ受信時：

ステーションリストを表示します。

音楽データや圧縮オーディオ再生時：

曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧(トラック / ファイル / フォルダーリスト)を表示します。

iPod 再生時：

ブラウズモードに切り換わります。

SD / USB で Music ブラウズ機能を ON に設定しているときは、Music ブラウズモードに切り換わります。ブラウズモードまたは Music ブラウズモード中に押すと、アルファベットサーチモードに切り換わります。

④ CD 挿入口

レーベル面を上にして、CD を挿入します。

⑤ ▲ ボタン

挿入した CD が出てきます。

⑥ TI/CLOCK ボタン

高速道路などで放送されている交通情報を受信します。周波数の切り換えはレバーを左右に回して行います。

長く押すと、ディスプレイに時計や経過時間を表示します。

長く押すごとに、次のように切り換わります。

ON → OFF → 経過時間 → ON に戻る

⑦ デタッチボタン

フロントパネルが外れます。

⑧ AUX 入力端子

外部機器 (AUX) を接続します。3.5 φステレオミニジャックをお使いください。

⑨ ▲ / ▼ ボタン

ラジオ受信時：

放送局を切り換えます。

WMA/MP3/AAC/WAV ファイル再生時：

フォルダーを切り換えます。

iPod 再生時：

アルバムを切り換えます。

⑩ MIXTRAX ボタン

USB / SD / iPod 再生時に、MIXTRAX 機能を ON にします (→ P27)。

⑪ ↵ / DISP ボタン

ラジオ受信時：

放送局名の表示・非表示を切り換えます。

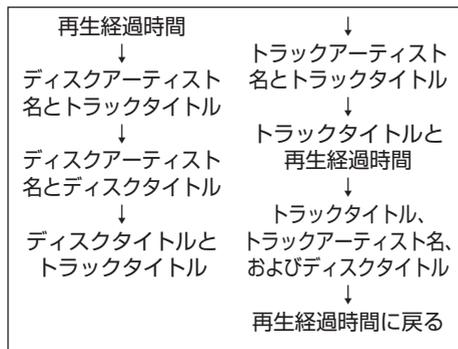


表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更できます (→ P17)。

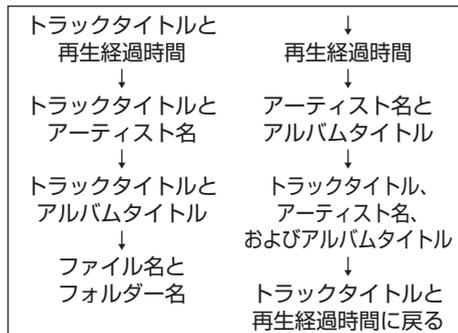
ラジオ以外のソース再生時：

ディスプレイの表示を次のように切り換えます。

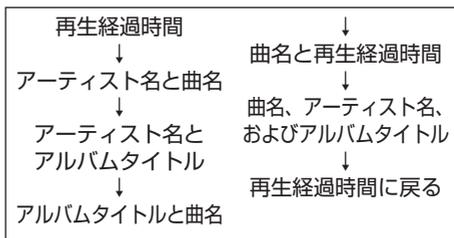
CD (CD TEXT)



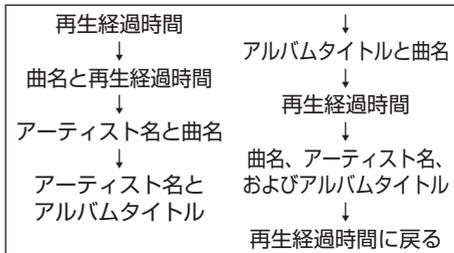
WMA/MP3/AAC/WAV ファイル



iPod



Apps



CD / USB / SD / iPod / Apps のリスト表示中：

前のリスト (1 つ上の階層のフォルダー) に戻ります。長く押すと、最上位の階層に戻ります。

メニュー画面や項目リストのアルファベット検索画面を表示しているとき：

1 つ前の画面に戻ります。



- ディスプレイの表示を変えられない場合もあります。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り / 早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、タイトル表示は空白になります。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できません。
- 音楽データや WMA / MP3 / AAC / WAV ディスク以外では、タイトルは表示しません。
- MP3 ファイルや AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。
- USB / SD を Music ブラウズモードで使用しているときは、ファイル名とフォルダー名は表示しません。

MIXTRAX 演出画面を表示中：

表示を一時解除し、通常の画面表示に切り換えます。

12 ローターリコマンダー

左右に回して音量を調整します。

リストやメニュー画面を表示しているときは、左右に回して項目を選び、押しで決定します。

13 BAND/ 冫 ボタン

ラジオ受信時：

バンドを次のように切り換えます。

FM-1 → FM-2 → AM-1 → AM-2 → FM-1 に戻る
放送局リストを表示している場合は、ふだんの
受信画面に戻ります。

CD / USB / SD / iPod のリスト表示中：

ふだんの再生画面に戻ります。

長く押しとフォルダー 01 (ROOT)に戻ります。
フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場
合は、次のフォルダーから再生が始まります。

音楽データと圧縮オーディオファイルが混在し
た CD の再生時：

再生するファイルを切り換えます。切り換え後
は、それぞれ先頭の曲から再生します。

マストレージクラス対応のメモリデバイスが
複数ある USB の再生時：

再生するメモリデバイスを切り換えます。切り
換えられるメモリデバイスの数は 32 までです。

iPod 再生時：

「コントロールモード」の設定を切り換えます
(→ P20)。

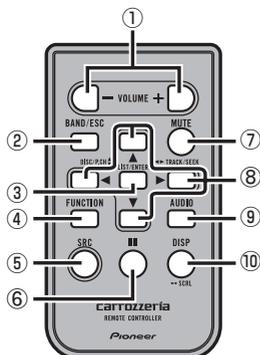
Apps ソース時：

スマートフォンのアプリケーションで再生中の
曲を、一時停止します。もう一度押しと、再生
が再開します。

メニュー画面を表示しているとき：

メニューを解除します。(初期設定メニュー
や電源 OFF の状態から操作したシステムメ
ニューを解除すると、電源が OFF になります。)

リモコン



1 VOLUME ボタン

音量を調整します。

2 BAND/ESC ボタン

本体の⑬と同じ働きをします。

3 LIST/ENTER ボタン

本体の③と同じ働きをします。

4 FUNCTION ボタン

ファンクションメニュー(→ P14)を表示します。

5 SRC (SOURCE) ボタン

本体の①と同じ働きをします。

6 II (ポーズ) ボタン

再生を一時停止します。

7 MUTE ボタン

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音
を消せます。

もう一度押しと、解除されます。

8 ▲/▼/◀/▶ ボタン

◀/▶ ボタンは CD / USB / iPod / SD 再生
時に、本体の②と同じ働きをします。

▲/▼ ボタンは各種メニューの項目でリストを
選択できます。▶ ボタンで項目を決定、◀ ボタ
ンで前の画面に戻ります。

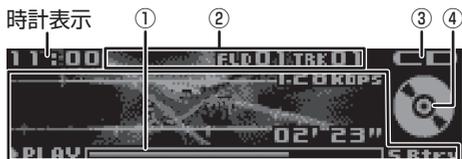
9 AUDIO ボタン

10 DISP/SCRL ボタン

本体の⑩と同じ働きをします。(ただし、前画
面へは戻りません。)

ディスプレイ

ソース表示



1 ソース情報表示部 2

周波数 (ラジオ)

再生経過時間 (オーディオ CD/Apps)

ビットレート、再生経過時間 (WMA/MP3/
AAC)

サンプリング周波数、再生経過時間 (WAV)

再生経過時間、再生中の曲番号やリスト収録曲
数 (iPod)

各種メニュー設定内容 などを表示します。

② ソース情報表示部 1

バンド、ステレオインジケーター、プリセットチャンネル番号、トラック番号、フォルダー番号、Apps 名を表示します。(ソースによって表示は異なります。)

③ ソースインジケーター

選択されたソース名を表示します。

④ ソースアイコン

選択されたソースをアイコンで表示します。

リスト表示



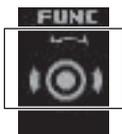
① 反転表示

再生中の項目(トラックやフォルダー)、受信中の項目(放送局や周波数の表示)は、反転表示されます。

② ハイライト表示

選んでいる項目は、ハイライト表示されます。

ガイド表示(各種メニュー)



ガイド表示

現在、有効な操作を示すロータリーコマンドとレバーが点灯します。(下図参照)

 が表示されるときは、ロータリーコマンドとレバーの操作結果が異なります。表示されていないときは、同じ操作結果になります。

	ロータリー操作	押す	長く押す	レバー操作
	○	○	○	○
	○	○	×	○
	○	×	×	○
	×	○	○	×
	○	○	×	×
	×	×	×	×

○: 有効 ×: 無効

ソース切り換え

ソースとは、SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、CD やラジオなどの音源のことです。

1 本機の電源をONにする (→P7)

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押すごとに次の順序で切り換わります。

ラジオ (FM/AM) → CD → USB / iPod → Apps (iPhone/iPod touch アプリケーション) → SD → AUX (外部機器) (別売) → ラジオ (FM/AM) に戻る



- 次の場合、該当のソースには切り換わりません。
 - 対応する機器を接続していない
 - ディスクをセットしていない
 - AUX ソースを OFF にしている (→ P26)

フォルダー／アルバム／放送局の選択

圧縮オーディオ再生時は、フォルダーが選べます。

iPod 再生時は、アルバムが選べます。

ラジオ受信時は、放送局が選べます。

1 次のフォルダー／アルバム／放送局を選ぶ

- ▲ ボタンを押します。

2 前のフォルダー／アルバム／放送局を選ぶ

- ▼ ボタンを押します。



- 圧縮オーディオファイル再生時は、BAND/ ボタンを長く押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

曲／チャプターの選択

1 次の曲／チャプターを選ぶ

レバーを右に回します。

2 前の曲を選ぶ

レバーを左に回します。

早送り／早戻し

1 早送りする

CDソースの場合

レバーを右に0.5秒以上回して離します。

USB／SD／iPod／Appsソースの場合

レバーを右に回し続けます。

2 早戻しする

CDソースの場合

レバーを左に0.5秒以上回して離します。

USB／SD／iPod／Appsソースの場合

レバーを左に回し続けます。



- ・圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときは、音声は出力されません。
- ・VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ファンクションメニューの操作

現在選択中のソースに応じた便利な機能を使うことができます。

1 ファンクションメニューを表示する

電源ONの状態、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回してFUNCTIONを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに機能が切り換わり、押すと決定または設定値が変更されます。

CDの場合

[再生範囲切換] ⇔ [ランダムプレイ設定] ⇔ [ポーズ設定] ⇔ [サウンドレトリバー設定]

ラジオの場合

[BSM設定] ⇔ [放送局名選択] ⇔ [チューニングモード]

USB/SDの場合

[再生範囲切換] ⇔ [ランダムプレイ設定] ⇔ [リンクプレイ] ⇔ [ポーズ設定] ⇔ [サウンドレトリバー設定]

iPodの場合

[再生範囲切換] ⇔ [シャッフル設定] ⇔ [シャッフルオール設定] ⇔ [リンクプレイ] ⇔ [ポーズ設定] ⇔ [オーディオブック] ⇔ [サウンドレトリバー設定]

Appsの場合

14 [ポーズ設定] ⇔ [サウンドレトリバー設定]

機能名	動作内容
再生範囲切換	曲を繰り返し（リピート）再生できます（→P15）。 繰り返しの範囲は、いま聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ソースやディスクによって異なります（→P18、P20）。 操作方法はCD、USB/SD、iPodで共通です。
ランダムプレイ設定	再生範囲切換で選んだ範囲で曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。操作方法はCD、USB/SDで共通です。
リンクプレイ	再生中の曲にリンクしたリストの曲を再生します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります（→P18）。 操作方法はUSB/SD、iPodで共通です。 USB/SDの場合は、Musicブラウズ機能の設定（→P26）を、「USB memory/SD card」に設定しないと表示されません。
ポーズ設定	曲の再生を一時停止できます（→P16）。操作方法はCD、USB/SD、iPod、Appsで共通です。
サウンドレトリバー設定	デジタル信号処理を用いて圧縮音楽の音質を補正する機能です。失われた音を補間して、高音質再生を実現します。（→P16）。操作方法はCD、USB/SD、iPod、Appsで共通です。
BSM設定	受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます（→P17）。
放送局名選択	表示される放送局名を選べます（→P17）。
チューニングモード	ラジオソース時のレバー動作を設定できます（→P17）。
シャッフル設定	曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です（→P20）。
シャッフルオール設定	iPodのミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同（ランダム）に再生できます（→P20）。
オーディオブック	オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます（→P21）。

CD を聞く

画面例



- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できます。
- 「CD-TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスク以外では、タイトルは表示されません。
- MP3 ファイルや AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

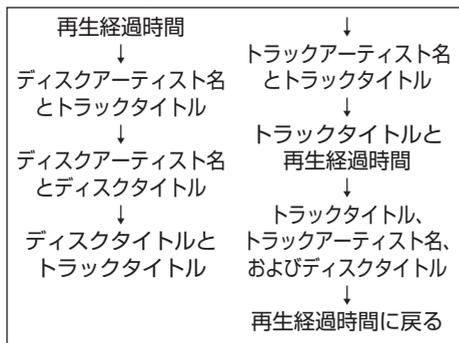
タイトルやアーティスト名を表示する

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。

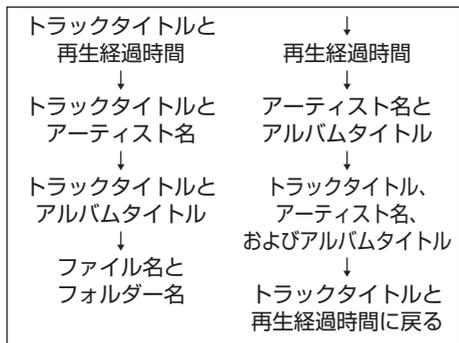
1 表示を切り換える

↔/DISP ボタンを押すごとに切り換わります。

CD TEXT を再生しているとき



WMA / MP3 / AAC / WAV を再生しているとき



- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 登録動作中にロータリーコマンドを押すと、BSM の登録処理を途中でやめることができます。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、タイトル表示は空白になります。
- CD-R / CD-RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)

タイトルから曲やフォルダーをさがす

音楽データ (CD-DA) や圧縮オーディオの再生中に、曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (トラック / ファイル / フォルダーリスト) を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

1 トラック / ファイル / フォルダーリストを表示する

Q ボタンを押します。

2 トラック番号、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

ロータリーコマンドを回します。

3 フォルダー内のフォルダー / ファイルを表示する

フォルダー表示時に、ロータリーコマンドを押します。

再生したいトラック / 曲 / ファイルが見つかったら、ロータリーコマンドを押します。



- フォルダーが表示されているときにロータリーコマンドを長く押し続けると、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。

繰り返し再生する

1 ファンクションメニューから[再生範囲切替]を選ぶ (→P14)

2 再生範囲を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

CD を再生しているとき

[Disc repeat (ディスクリピート)] ⇔ [Track repeat (トラックリピート)]

WMA / MP3 / AAC / WAV を再生しているとき

[Disc repeat] → [Track repeat] → [Folder repeat] → [Disc repeat] に戻る

機能名	動作内容
Disc repeat	いま聞いているディスクを繰り返し再生する。
Track repeat	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
Folder repeat	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。

- 選んだ再生範囲は、「ランダムプレイ設定」の再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに切り換わります。

[OFF] → [1] → [2] → [OFF] に戻る

- 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。
- サウンドレトリバーの設定値は、MIXTRAX 機能が ON の状態と OFF の状態で別々に記憶されます。MIXTRAX 機能を ON に設定した場合は (→ P27)、改めて上記の操作を行ってください。

違う曲順で再生する

1 ファンクションメニューから[ランダムプレイ設定]を選ぶ (→P14)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すと、次の曲からランダムに再生されます。もう一度押すと OFF になります。

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わります。
 - CD : ディスクリピート
 - 圧縮オーディオファイル : フォルダーリピート
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、レバーを右に回して切り換えてください。レバーを左に回すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

1 ファンクションメニューから[ポーズ設定]を選ぶ (→P14)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

音を補正して高音質化する

1 ファンクションメニューから[サウンドレトリバー設定]を選ぶ (→P14)

ラジオを聞く

画面例



・放送局名が登録されていない放送局の場合、周波数が表示されます。

放送局を1局ずつ登録する

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます(プリセットメモリー)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンド、登録したい放送局を選ぶ (→P10)

2 ステーションリストを表示する

Qボタンを押します。

3 登録したいプリセット番号を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、1～6の中から選びます。

4 放送局を登録する

ロータリーコマンドを長く押します。

登録動作中に押したプリセット番号(登録番号)が点滅します。

登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

1～6のプリセット番号に登録した放送局を、放送局名の一覧(ステーションリスト)の中からさがすことができます。

1 バンドを選ぶ (→P10)

2 ステーションリストを表示する

Qボタンを押します。

3 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

4 選んだ放送局を受信する

ロータリーコマンドを押します。

- ・リスト表示については、P13をご覧ください。
- ・表示されている放送局名が受信している放送局と異なる場合、放送局名を変更できます(→P17)。

複数の放送局を自動的に登録する

1 登録するバンドを選ぶ (→P10)

2 ファンクションメニューから[BSM設定]を選ぶ (→P14)

3 自動登録を開始する

ロータリーコマンドを押します。

登録が完了するとステーションリストに切り換わり、プリセット番号1に登録された放送局を受信します。

- ・BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。
- ・登録動作中にロータリーコマンドを押すと、BSMの登録処理を途中でやめることができます。

放送局名を選ぶ

1 ファンクションメニューから[放送局名選択]を選ぶ (→P14)

2 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

3 放送局を変更する

ロータリーコマンドを押します。

- ・本機に登録されていない放送局名は選べません。
- ・放送局を表示させたくないときは、すべて空白の表示を選びます。
- ・選んだ周波数に該当する放送局が登録されていない場合、「放送局データなし」と表示されます。

レバーの動作を設定する

1 ファンクションメニューから[チューニングモード]を選ぶ (→P14)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[プリセット チャンネル] ⇄ [マニュアル シーク]

機能名	動作内容
プリセット チャンネル	登録した放送局を切り換える。
マニュアル シーク	手動で選局する。

USB / SD を聞く

画面例 (USB)



- 本機は、接続された USB 機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「[FORMAT READ]」と表示されます。USB 機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB 機器を接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB 機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

再生中の曲にリンクした曲を、以下のリストから再生できます。

- ・再生中のアーティストのアルバムリスト
- ・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
- ・再生中のジャンルのアルバムリスト (Music ブラウズモード)

- 本機機能は、システムメニューの「Music ブラウズ機能を設定する」(→P26) で USB memory/SD card に設定したときに、使用できます。
- 保存されたファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。
- リンクのサーチ条件に関連したリストがない場合は、「見つかりません」と表示されます。
- 曲によっては、切り換わる際に終わりの音や始まりの音が切れる場合があります。

1 ファンクションメニューから[リンクプレイ]を選ぶ (→P14)

2 リンクのサーチ条件を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[アーティスト] ⇄ [アルバム] ⇄ [ジャンル]

3 リンクのサーチ条件を選ぶ

ロータリーコマンドを押します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。

- リンクプレイ以外の操作を行うと、リンクプレイでの選択結果が解除される場合があります (例: 早送り/早戻し)。

繰り返し再生する

操作方法は CD の場合と同じです (→P15)。

切り換わる範囲は以下の通りです。

[All repeat] → [Track repeat] → [Folder repeat] → [All repeat] に戻る

機能名	動作内容
All repeat	すべての曲を繰り返し再生する。
Track repeat	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
Folder repeat	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。

タイトルやアーティスト名を表示する

操作方法は CD の場合と同じです (→P15)。

- Music ブラウズモードで使用しているときは、ファイル名とフォルダー名は表示しません。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

操作方法は CD の場合と同じです (→P15)。

聞きたい曲をさがす

アーティスト、アルバム、曲、ジャンルの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます (Music ブラウズモード)。

- 本機機能は、システムメニューの「Music ブラウズ機能を設定する」(→P26) で USB memory/SD card に設定したときに、使用できます。
- アーティスト、アルバム、曲、ジャンルの各項目から検索するために、データベースを構築します。データベースの構築には、1 000 曲あたり 70 秒程度の時間がかかります。通常は、3 000 曲程度を推奨します。ファイルによっては、さらに時間がかかる場合があります。
- USB または SD に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。
- データベース、またはリスト構築中は、キーが効かないことがあります。
- 本機の電源が ON/OFF されることに、リストを再構築します。

1 Music ブラウズモードにする

🔍 ボタンを押します。

iPod を聞く

画面例



- iPhone/iPod touch 以外では、再生範囲が 1 曲リピートのときは、レバーを回して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。
- iPod を使用するときのご注意や iPod の設定については、P42 をご覧ください。
- iPod を接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- iPod は、いつでも取り外すことができます。
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- iPod の電源を OFF するには、iPod 用 USB 変換ケーブルを取り外します。

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。押すと決定します。

必要に応じて項目を絞り込んでください。

再生したい曲が見つかったら、ロータリーコマンドを押します。

- アルファベット順に表示する項目のときに、ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります (→ P19)。
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。

リスト表示をアルファベットで検索する

項目別リスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベットまたは数字で記録されているものが対象です。

1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する (→ P18)

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中に Q ボタンを押します。

もう一度 Q ボタンを押すと、アルファベットサーチモードを解除します。

- ロータリーコマンドを 2 回連続で回して、入力画面を表示することもできます。

3 検索したいアルファベットを表示する

ロータリーコマンドを回してアルファベットを選び、押します。選んだアルファベットを先頭にして、リストが表示されます。

- 対象となる曲がなかったときは、「Not found」が表示されたあとリスト表示に戻ります。

再生を一時停止する

操作方法は CD の場合と同じです (→ P16)。

音を補正して高音質化する

操作方法は CD の場合と同じです (→ P16)。

聞きたい曲をさがす

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、Podcast (ポッドキャスト)、ジャンル、作曲家、オーディオブックの項目別リストから、お好みの曲を選んで再生できます。(ブラウズモード)

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

1 ブラウズモードにする

Q ボタンを押します。

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。押すと決定します。

必要に応じて項目を絞り込んでください。

再生したい曲が見つかったら、ロータリーコマンドを押します。

- アルファベット順に表示する項目のときに、Q ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります (→ P20)。
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。

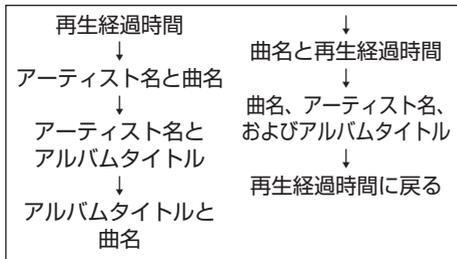
リスト表示をアルファベットで検索する

操作方法は USB / SD の場合と同じです (→P19)。

タイトルやアーティスト名を表示する

操作方法は CD の場合と同じです (→P15)。

切り換わる内容は以下の通りです。



- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod で選曲して本機から再生する

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらでするか切り換えられます (コントロールモード)。

- 対応 iPod については、P42 をご覧ください。

1 コントロールモードを切り換える

BAND/ ボタンを押すごとに切り換わります。

[iPod] ⇔ [AUDIO]

機能名	動作内容
iPod	iPod で選曲などの操作をする。
AUDIO	本機で選曲などの操作をする。

- iPod に設定した場合は、以下の制限があります。
 - ファンクションメニューは、ポーズ設定とサウンドレトリバー設定以外は選択できません。
 - ブラウズモード(→P19)には切り換わりません。
 - 音量は本機からしか調節できません。
- iPod に設定すると、再生は停止されます。iPod を操作して、再生してください。
- コントロールモードを iPod に設定していても、本機から次の操作ができます。
 - タイトルの表示切り換え
 - 一時停止
 - 選曲
 - 早送り/早戻し

繰り返し再生する

操作方法は CD の場合と同じです (→P15)。

切り換わる範囲は以下の通りです。

[Repeat One] ⇔ [Repeat All]

機能名	動作内容
Repeat One	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
Repeat All	いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生する。

違う曲順で再生する

1 ファンクションメニューから[シャッフル設定]を選ぶ (→P14)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[Shuffle OFF] → [Shuffle Songs] → [Shuffle Albums] → [Shuffle OFF] に戻る

機能名	動作内容
Shuffle OFF	繰り返し再生しない。
Shuffle Songs	いま聞いているリスト内の曲をランダムに再生する。
Shuffle Albums	アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生する。

すべての曲をシャッフルしてから再生する

1 ファンクションメニューから[シャッフルオール設定]を選ぶ (→P14)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すと「ON」が2秒間表示され、全曲シャッフル再生が始まります。

- 全曲シャッフルを解除するには、「シャッフル設定」で「Shuffle OFF」を選びます (→P20)。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

操作方法は USB / SD の場合と同じです (→P18)。

再生を一時停止する

操作方法は CD の場合と同じです (→P16)。

オーディオブックの再生速度を変更する

1 ファンクションメニューから[オーディオブック]を選ぶ (→P14)

2 再生速度を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[標準] → [やや速い] → [やや遅い] → [標準]に戻る

音を補正して高音質化する

操作方法は CD の場合と同じです (→P16)。

アプリを操作する

iPhone または iPod touch のアプリケーションを再生中に、本機でコントロールできます。本機に接続した iPhone または iPod touch でアプリケーションの操作を行い、曲を再生状態にします。Apps ソースに切り換えた後 (→P13)、本機のボタン(→P10~P14)でコントロールします。

画面例



- 対応アプリケーションの情報については、カロツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
- iOS が 5.0 未満の場合、画面に表示される曲情報が正しくない場合があります。
- スマートフォンやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- iPhone/iPod touch には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPhone/iPod touch からヘッドホンを外してください。
- iPhone/iPod touch を使用するときのご注意や iPhone/iPod touch の設定については、P42 をご覧ください。
- iPhone/iPod touch を接続したまま、本機の電源を OFF にしたり他のソースに切り換えたりできます。
- iPhone/iPod touch は、いつでも取り外すことができます。
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPhone/iPod touch のバッテリーが充電されます。
- iPhone/iPod touch の電源を OFF にするには、iPod 用 USB 変換ケーブルを取り外します。

再生を一時停止する

ファンクションメニューを使って一時停止する方法です。

操作方法は CD の場合と同じです (→P16)。

音を補正して高音質化する

操作方法は CD の場合と同じです (→P16)。

音の調節

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオメニューで機能を選んで操作します。

画面例



オーディオメニューを切り換える

1 オーディオメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンドを押します。

ロータリーコマンドを回して AUDIO を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに機能が切り換わり、押すと決定または設定値が変更されます。

[Fader/Balance] ⇄ [Preset EQ] ⇄ [G.EQ] ⇄ [Loudness] ⇄ [Subwoofer 1] ⇄ [Subwoofer2] ⇄ [Bass Booster] ⇄ [HPF] ⇄ [SLA]

• Subwoofer2 は、Subwoofer1 の設定が ON のときだけ選べます。

■ 前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

• リアスピーカー出力の設定 (→ P25) を「Rear SP:S/W」にしたときは、Fader (フェーダー) は調節できません。

1 オーディオメニューから [Fader/Balance] を選ぶ (→ P22)

2 音量バランスを調節する

前後を調節するとき

ロータリーコマンドを押して、前後のバランス設定に切り換える

操作	動作内容
右に回す	前を強める
左に回す	後ろを強める

前後のバランスは、Fad F 15 ~ Fad R 15 の範囲で調節できます。

左右を調節するとき

ロータリーコマンドを押して、左右のバランス設定に切り換える

操作	動作内容
右に回す	右を強める
左に回す	左を強める

左右のバランスは、Bal L 15 ~ Bal R 15 の範囲で調節できます。

■ イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。

• 交通情報を受信しているときは、イコライザーカーブを選べません。

1 オーディオメニューから [Preset EQ] を選ぶ (→ P22)

2 イコライザーカーブを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[Flat] ⇄ [Super Bass] ⇄ [Powerful] ⇄ [Natural] ⇄ [Vocal] ⇄ [Custom 1] ⇄ [Custom 2]

• 「Custom1」と「Custom2」は、お好みに合わせて調節できます。
• 「Flat」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブと切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

■ イコライザーカーブを調節する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調節できます。

• Custom1 は、調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(USB、iPod、Apps は同じ設定になります。)
• 「Custom2」以外のカーブを選んでおくと調節すると、自動的に「Custom1」に登録されます。
• Custom2 は、すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。「Custom2」を選んでおくと調節すると、調節内容が更新されます。

1 調節したいイコライザーカーブを選ぶ (→ P22)

2 オーディオメニューから [G.EQ] を選ぶ (→ P22)

3 周波数を選ぶ

ロータリーコマンドーを回します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHz の中から選べます。

4 レベル調節に切り換える

ロータリーコマンドーを押します。

5 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは -6 ~ +6 の範囲で調節できます。

- 調節するイコライザーカーブによっては、調節範囲が異なります。

■ 小さな音量でも聞きやすくする

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1 オーディオメニューから [Loudness] を選ぶ (→P22)

2 OFF / 効果音設定値を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [OFF] ⇄ 効果音設定値 ([Low]、[Mid]、[High]) が切り換わります。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに、Low (弱)、Mid (中)、High (強) の中から選べます。

■ サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子、または RCA 出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、

- ①サブウーファーの OFF / 位相切り換え
- ②サブウーファー調節の 2 つのステップで行います。

「サブウーファーの設定について」(→ P33) を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。

- 「Subwoofer1」(→ P23) を「OFF」にした場合は、「Subwoofer2」(→ P23) は操作できません。

■ サブウーファーの OFF / 位相切り換え

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。
 - 正相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される
 - 逆相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 オーディオメニューから [Subwoofer1] を選ぶ (→P22)

2 OFF / 位相設定値を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [OFF] ⇄ 位相設定値 ([Normal]、[Reverse]) が切り換わります。

3 サブウーファーの位相を選ぶ

ロータリーコマンドーを回します。

操作	動作内容
右に回す	正相 (Normal) を選ぶ
左に回す	逆相 (Reverse) を選ぶ

■ サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファーから出力される低音域(カットオフ周波数)と出力レベルを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

- 本機機能では、選んだ周波数よりも上の周波数(または下の周波数)の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調することもできます。

1 オーディオメニューから [Subwoofer2] を選ぶ (→P22)

初期／システム設定

「S/Wコントロール」「カレンダー設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューまたはシステムメニューで操作します。

初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。システムメニューは、電源をOFFにした状態でも、ONにした状態でも操作できます。

画面例



初期設定メニューを切り換える

■ リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選びます。



・リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:S/W」に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。

1 本機の電源をOFFにする (→P7)

2 初期設定メニューを表示して、S/Wコントロールを表示する

ロータリーコマンドーを長く押します。

ロータリーコマンドーを回してSETUPを選び、押します。

3 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに[Rear SP:S/W] ⇄ [Rear SP:F.Range] が切り換わります。

機能名	動作内容
Rear SP:F.Range	フルレンジスピーカーを接続するとき
Rear SP:S/W	サブウーファーを接続するとき

システムメニューを切り換える

1 システムメニューを表示する

電源ONの場合はロータリーコマンドーを押します。電源OFFの場合はロータリーコマンドーを長く押します。

ロータリーコマンドーを回してSYSTEMを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[カレンダー設定] ⇄ [時計調整] ⇄ [経過時間アラート設定] ⇄ [Musicブラウズ設定] ⇄ [デタッチワーニング設定] ⇄ [外部機器設定] ⇄ [ディマー設定] ⇄ [コントラスト調整] ⇄ [ミュート設定] ⇄ [連続スクロール設定]

■ 日付を合わせる

本機のディスプレイに表示する日付を合わせます。

1 システムメニューから[カレンダー設定]を選ぶ (→P25)

2 年、月、日を選ぶ

ロータリーコマンドーを押します。

3 日付を合わせる

ロータリーコマンドーを回します。

■ 時計を合わせる

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1 システムメニューから[時計調整]を選ぶ (→P25)

2 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドーを押します。

3 時刻を合わせる

ロータリーコマンドーを回します。

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

■ 本機の使用時間を知らせる

車のエンジン、またはACCがONになってからの時間を計測し、設定した時間ごとに使用時間を表示と音で知らせます。

1 システムメニューから[経過時間アラート設定]を選ぶ (→P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

OFF → 15分 → 30分 → OFF に戻る

■ Music ブラウズ機能を設定する

USB または SD 機器を使用しているときに、項目別リストから曲をさがしたり、再生中の曲にリンクした曲を再生したりできます (→ P18)。本機能を使用する場合は、曲をさがす元になるデータベース・リストの種類を設定します。

1 システムメニューから [Music ブラウズ設定] を選ぶ (→ P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

OFF → USB memory → SD card → OFF に戻る

機能名	動作内容
OFF	ファイル/フォルダーのリストを使用する (Music ブラウズ機能 OFF)
USB memory	USB のアーティスト/アルバム/曲/ジャンルのデータベース・リストを作成する (Music ブラウズ機能 ON)
SD card	SD カードのアーティスト/アルバム/曲/ジャンルのデータベース・リストを作成する (Music ブラウズ機能 ON)

- アーティスト/アルバム/曲/ジャンルのデータベース・リストの作成には、時間がかかることがあります。
- Music ブラウズ機能を ON にしているときは、次の機能が使用できません。
 - フォルダー選択
 - ROOT フォルダー戻し
 - フォルダーリピート
- Music ブラウズ機能は、ID3tag Ver.2 に対応しています。
- Music ブラウズ機能は、USB / SD のいずれかひとつにしか設定できません。

■ フロントパネルの外し忘れを警告する

デタッチワーニングは、車を離れるときに、フロントパネルの外し忘れを警告ブザーで知らせる機能です。

フロントパネルを取り外すには (→ P8)。

- イグニッションスイッチを OFF にしたときに、フロントパネルを外し忘れてしまうと、約 4 秒後に警告ブザーが鳴ります。

1 システムメニューから [デタッチワーニング設定] を選ぶ (→ P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

■ 外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

本機にポータブル音楽再生機器や VTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 φステレオミニジャックを差し込みます。

1 システムメニューから [外部機器設定] を選ぶ (→ P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

- 工場出荷時は、AUX が ON に設定されています。AUX を使用しない場合は、OFF に設定してください。

■ 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

車のライトを ON にすると、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

夜間にディスプレイがまぶしく感じられる場合、ディマー設定を ON にすると便利です。

- コントラスト調整 (→ P26) の設定を「0」にしているときは、ディマー設定を ON にしても、効果はありません。

1 システムメニューから [ディマー設定] を選ぶ (→ P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

■ ディスプレイのコントラストを調節する

1 システムメニューから [コントラスト調整] を選ぶ (→ P25)

2 調節する

ロータリーコマンドーを回します。
コントラストは0～15の範囲で調節できます。

■ ミュート／アッテネートを切り換える

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートにするかを選べます。

1 システムメニューから[ミュート設定]を選ぶ (→P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [TEL mute] ⇔ [TEL ATT] が切り換わります。

機能名	動作内容
TEL mute (ミュート)	音量「0」
TEL ATT (アッテネート)	元の音量の約 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

■ スクロールの設定を切り換える

連続スクロール設定を ON にすると、CD のタイトルなどを連続してスクロールようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、本機能を OFF にします。

1 システムメニューから[連続スクロール設定]を選ぶ (→P25)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

便利な機能

画面例



MIXTRAX 機能を ON / OFF する

MIXTRAX とは、さまざまな効果音を加えて、曲間をアレンジする技術です。ノンストップで音楽を楽しむことができます。また、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの色が自動的に変化し、さまざまな演出効果を楽しむことができます。本機能を使うときは、MIXTRAX ボタン (→P10) を押して、ON / OFF を切り換えます。



- 本機能を ON にすると、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの色が自動的に変化します。運転の妨げになるような場合は、本設定を OFF にするか、点滅エリアの切り換えを OFF にしてください (→P28)。
- 本機能は、USB、SD、iPod の曲で使用できます。ただし、iPod のオーディオブックや Podcast では、使用できません。
- 曲を切り換えるときも自動で音声加わり、無音状態がなくなります。

MIXTRAX メニューを切り換える

1 MIXTRAXメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回して MIXTRAX を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに機能が切り換わり、押すと決定または設定値が変更されます。

[SHORT PLAYBACK] ⇔ [FLASH AREA]
⇔ [Flashing Color] ⇔ [DISP EFFECT] ⇔
[CUT IN EFFECT] ⇔ [MIX Settings]

■ 曲の再生時間を切り換える

設定した時間だけ、曲が再生されます。本機能を使用しないときは、曲の最初から最後まで再生されます。

1 MIXTRAXメニューから[SHORT PLAYBACK]を選ぶ (→P27)

2 再生時間を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[1.0 MIN] ~ [3.0 MIN] ⇄ [Random] ⇄ [OFF]

再生時間は、1.0 MIN (分)、1.5 MIN (分)、2.0 MIN (分)、2.5 MIN (分)、3.0 MIN (分)の中から選べます。

Random を選ぶと、曲が切り換わるたびに、次曲の再生時間が 1.0 MIN ~ 3.0 MIN から、ランダムに選択されます。

■ 点滅エリアを切り換える

点滅エリアを、ボタンとディスプレイの中から選びます。

OFF を選択すると、イルミネーションメニューで設定した色になります (→P30)。

1 MIXTRAXメニューから[FLASH AREA]を選ぶ (→P27)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[Key & Display] ⇄ [KEY SIDE] ⇄ [OFF]

機能名	動作内容
Key & Display	ボタンとディスプレイが点滅する
KEY SIDE	ボタンが点滅しない
OFF	点滅しない

■ 点滅パターンを切り換える

再生する曲に合わせて点滅パターンを選びます。

1 MIXTRAXメニューから[Flashing Color]を選ぶ (→P27)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[Sound Level Mode Color 1] ~ [Sound Level Mode Color 6] ⇄ [Low Pass Mode Color 1] ~ [Low Pass Mode Color 6] ⇄ [Flashing Color Random] ⇄ [Sound Level Mode Random] ⇄ [Low Pass Mode Random]

機能名	動作内容
Sound Level Mode Color 1 ~ Sound Level Mode Color 6	再生する曲のレベルに応じて変化する
Low Pass Mode Color 1 ~ Low Pass Mode Color 6	再生する曲の低音レベルに応じて変化する

Flashing Color Random	SOUND LEVEL と LOW PASS の全 12 種類のパターンからランダムに選択する
Sound Level Mode Random	SOUND LEVEL の全 6 種類のパターンからランダムに選択する
Low Pass Mode Random	LOW PASS の全 6 種類のパターンからランダムに選択する

■ 画面演出を設定する

MIXTRAX 専用の画面演出を行います。通常の画面表示は行いません。

1 MIXTRAXメニューから[DISP EFFECT]を選ぶ (→P27)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[MIXTRAX 1] ⇄ [MIXTRAX 2] ⇄ [OFF]

機能名	動作内容
MIXTRAX 1	専用画面 1 の画面演出をする
MIXTRAX 2	専用画面 2 の画面演出をする
OFF	画面演出をしない

■ 効果音を設定する

手動で曲を切り換えるときに効果音を出します。

1 MIXTRAXメニューから[CUT IN EFFECT]を選ぶ (→P27)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

■ 効果音の効果を設定する

固定音とエフェクト効果音を設定します。固定音とエフェクト効果音を組み合わせ、曲間ごとにランダム再生します。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選ぶ (→P27)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[MIX Fixed] ⇄ [LOOP EFFECT] ⇄ [Flanger EFFECT] ⇄ [Echo EFFECT] ⇄ [Crossfade EFFECT]

●固定音を入れる

ID3 tag で曲のジャンルを判別し、6種類の固定音から選別して再生します。

 • ID3 tag でジャンルを判別できない場合は、すべての固定音の中からランダム再生します。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選び、[MIX Fixed]を選ぶ (→P27、P28)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

●ループエフェクトをかける

曲の一部を繰り返し再生します。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選び、[LOOP EFFECT]を選ぶ (→P27、P28)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

●フランジャーエフェクトをかける

ジェット機の上昇、下降音のような、うねり効果をかけます。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選び、[Flanger EFFECT]を選ぶ (→P27、P28)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

●エコーエフェクトをかける

反響効果をかけます。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選び、[Echo EFFECT]を選ぶ (→P27、P28)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

●クロスフェードエフェクトをかける

フェードアウト、フェードインをして曲をつなげます。

 • iPod ソースでは、クロスフェードエフェクトはかかりません。

1 MIXTRAXメニューから[MIX Settings]を選び、[Crossfade EFFECT]を選ぶ (→P27、P28)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

エンタテインメントメニューを切り換える

音楽などを聞いているときの、ディスプレイの表示を選べます。

1 エンタテインメントメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回して ENTERTAINMENT を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに機能が切り換わり、押すと決定または設定値が変更されます。

[背景画面設定] ⇄ [時計表示]

 • MIXTRAX 機能 (→P27) を ON にすると、設定値は「MIXTRAX」に切り換わります。

■背景画面を設定する

1 エンタテインメントメニューから[背景画面設定]を選ぶ (→P29)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[BGV] ⇄ [GENRE] ⇄ [BGP1] ⇄ [BGP2] ⇄ [BGP3] ⇄ [BGP4] ⇄ [SIMPLE] ⇄ [CALENDAR]

3 設定する

ロータリーコマンドーを押します。

エンタテインメントメニューが解除されます。

 • BGV は、「Background Visual (バックグラウンドビジュアル)」の略です。

• GENRE は、iTunes でエンコードしたファイルを再生しているときに、再生中の曲のジャンルに応じて、背景の画像を切り換える機能です。対応しているジャンルは次のとおりです。

- Rock (Rock、Alternative、ロック、オルタナティブなど)
- Pop (Pop、J-Pop、ポップなど)
- Jazz (Jazz、ジャズなど)

- Dance (Dance、ダンス、Electronic、Electronica / Dance など)

- R&B (R&B、Soul、ソウルなど)

- Hip-Hop (Hip-Hop、Rap、ヒップホップ、ラップ、Hip Hop など)

ただし、iTunes でエンコードした WAV ファイルを再生している場合は、GENRE は正しく動作しません。

• オーディオファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、GENRE が正しく動作しないことがあります。

• BGP は、「Background Picture (バックグラウンドピクチャー)」の略です。

■ 時計表示を切り換える

1 エンタテインメントメニューから [時計表示] を選ぶ (→P29)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[ON] → [経過時間] → [OFF] → [ON] に戻る

イルミネーションメニューを切り換える

本機に設定したい色を、イルミネーションメニューで選びます。

1 イルミネーションメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンドを押します。

ロータリーコマンドを回して ILLUMINATION を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに機能が切り換わり、押すと決定または設定値が変更されます。

[Key Side] ⇄ [Display Side] ⇄ [Key & Display]

■ ボタンの色を選ぶ

ロータリーコマンドと、その周辺のボタンに設定したい色を選びます。

1 イルミネーションメニューから [Key Side] を選ぶ (→P30)

2 色を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[White] ~ [Rose] ⇄ [Scan] ⇄ [Warm] ⇄ [Ambient] ⇄ [Calm] ⇄ [Custom]

White ~ Rose はプリセットカラーです (全 27 色)。



• プリセットカラーを選択時にロータリーコマンドを長く押すと、その色を調節できます (→P31)。

• Scan (スキャン) は、すべてのプリセットカラーを自動で切り換えます。

• Warm (ウォーム) は、暖色系のプリセットカラーを自動で切り換えます。

• Ambient (アンビエント) は、穏やかな色合いのプリセットカラーを自動で切り換えます。

• Calm (カーム) は、寒色系のプリセットカラーを自動で切り換えます。

• Custom (カスタム) は、調節したボタンやディスプレイの色で表示します (→P31)。

■ ディスプレイの色を選ぶ

ディスプレイと、その周辺のボタンに設定したい色を選びます。

1 イルミネーションメニューから [Display Side] を選ぶ (→P30)

2 色を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[White] ~ [Rose] ⇄ [Scan] ⇄ [Warm] ⇄ [Ambient] ⇄ [Calm] ⇄ [Custom]

White ~ Rose はプリセットカラーです (全 27 色)。



• 「ボタンの色を選ぶ」の場合と同じです。

■ ボタンとディスプレイの色を選ぶ

本機のボタンとディスプレイに設定したい色を選びます。

1 イルミネーションメニューから [Key & Display] を選ぶ (→P30)

2 色を表示する

ロータリーコマンドを押します。

3 色を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[White] ~ [Rose] ⇄ [Scan] ⇄ [Warm] ⇄ [Ambient] ⇄ [Calm]

White ~ Rose はプリセットカラーです (全 27 色)。



• 「ボタンの色を選ぶ」の場合と同じです。ただし、プリセットカラー選択時の色調節はできません。また、Custom は表示されません。

接続／取り付け

■ ボタンとディスプレイの色を調節する

本機のボタンやディスプレイに設定する色を、お好みに合わせて調節します。

1 イルミネーションメニューから [Key Side] または [Display Side] を選ぶ (→P30)



・「Key & Display」を選んでいるときは、調節できません。

2 プリセットカラーまたは [Custom] を選ぶ (→P30)

3 色の調節をはじめ

ロータリーコマンドを長く押します。

4 色を選ぶ

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[R] → [G] → [B] → [R] に戻る

5 明るさを調節する

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは、0～60の範囲で調節できます。



・他の色も同じ操作で調節できます。
・R (赤)、G (緑) および B (青) を同時に 20 未満のレベルにすることはできません。

接続／取り付け上のご注意

- ・接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続／取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ
(5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 4



■ コード関係

電源コード × 1



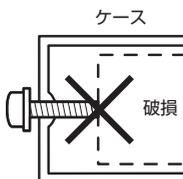
USB 接続ケーブル × 1



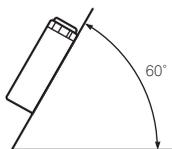
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

- ・必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- ・本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。



■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

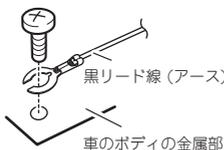
- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のバイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

黒リード線（アース）
車のボディの金属部
- 本機は、エンジンスイッチに ACC がない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けたら、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクター着脱のポイント

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

バッテリー交換時のご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

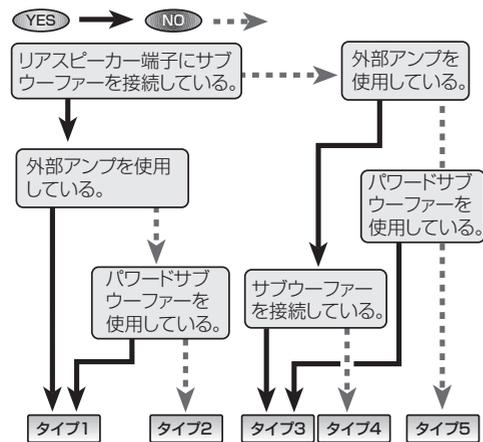
また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー（→ P17）、カレンダー設定（→ P25）、時計（→ P25）、オーディオ調整（→ P22）などの設定内容は消去されます。消去された場合は、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。

サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができます。サブウーファーの接続方法やシステムによって、サブウーファーの設定方法は大きく異なります。下表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。



●タイプ 1

- ※ 入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。
- ※ パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1 初期設定メニュー (→P25) で、S/W コントロール設定を「Rear SP:S/W」にする

2 オーディオメニュー (→P22) で、「Subwoofer1」をNormalまたはReverseにする

3 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う

●タイプ 2

1 初期設定メニュー (→P25) で、S/W コントロール設定を「Rear SP:S/W」にする

2 オーディオメニュー (→P22) で、「Subwoofer1」をNormalまたはReverseにする

3 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う

●タイプ 3

- ※ 入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。
- ※ パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1 初期設定メニュー (→P25) で、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする

2 オーディオメニュー (→P22) で、「Subwoofer1」をNormalまたはReverseにする

3 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う

●タイプ 4

- ※ 入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターを OFF に設定する。

1 初期設定メニュー (→P25) で、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする

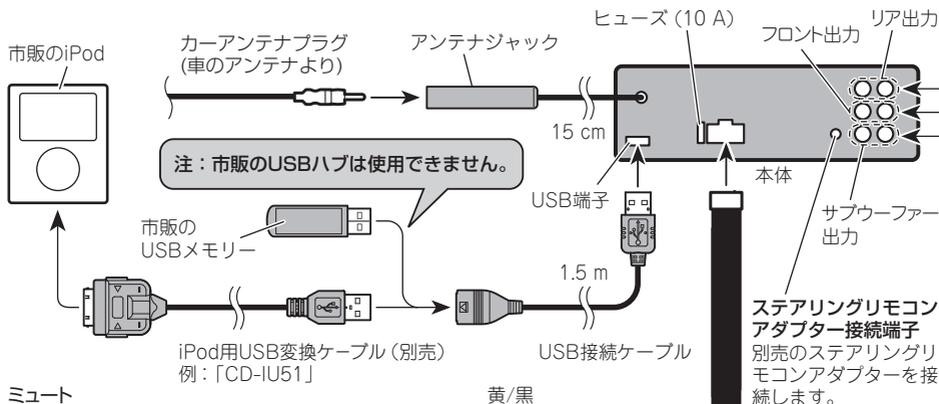
●タイプ 5

1 初期設定メニュー (→P25) で、S/W コントロール設定を「Rear SP:F.Range」にする

接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合



ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。) 組み合わせた別売製品に黄/黒リード線 (ミュート用またはセルラーミュート用) がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 以下の車両については未接続の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

● オートアンテナ車:

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。

● ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車など:

車側のアンテナプスターの電源入力端子に接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注: 製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

黒

橙/白

赤

黄

青/白

黄/黒

黒

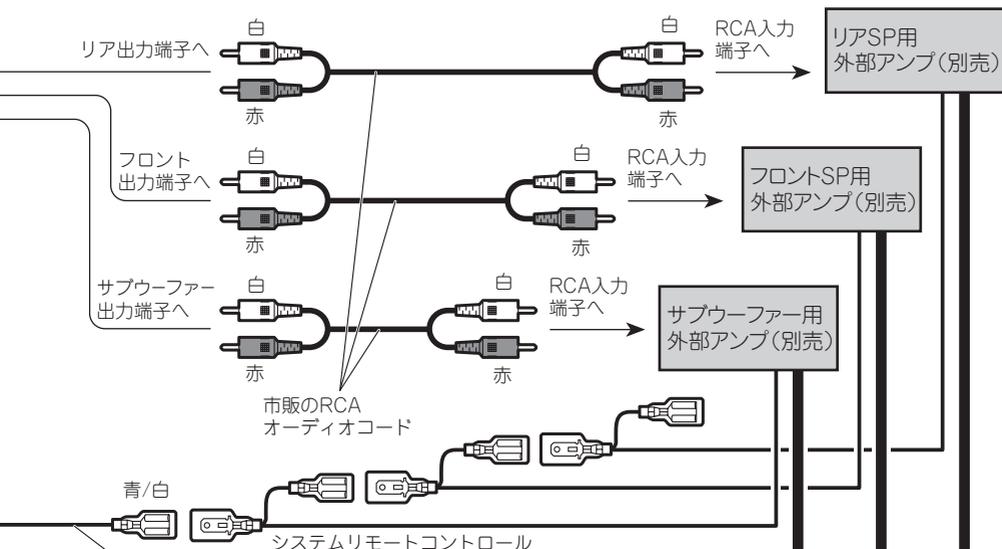
赤

黄

青/白

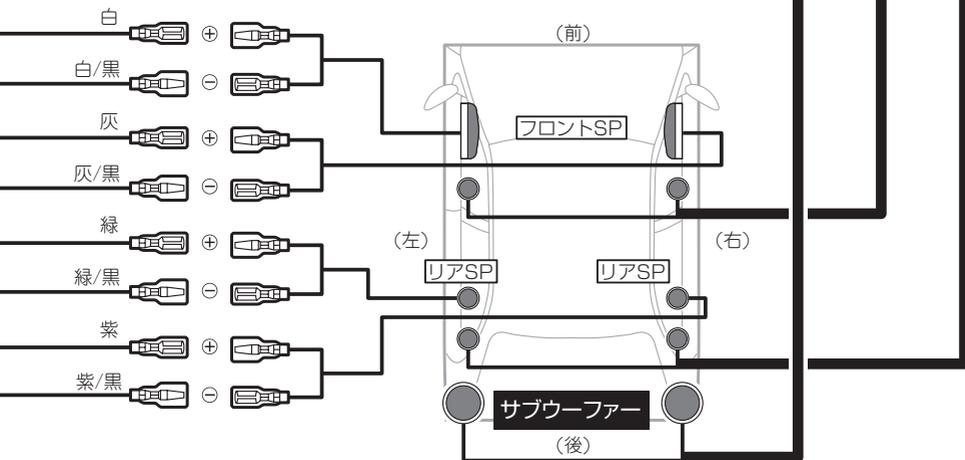
黄/黒

注: 赤、黄、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



システムリモートコントロール

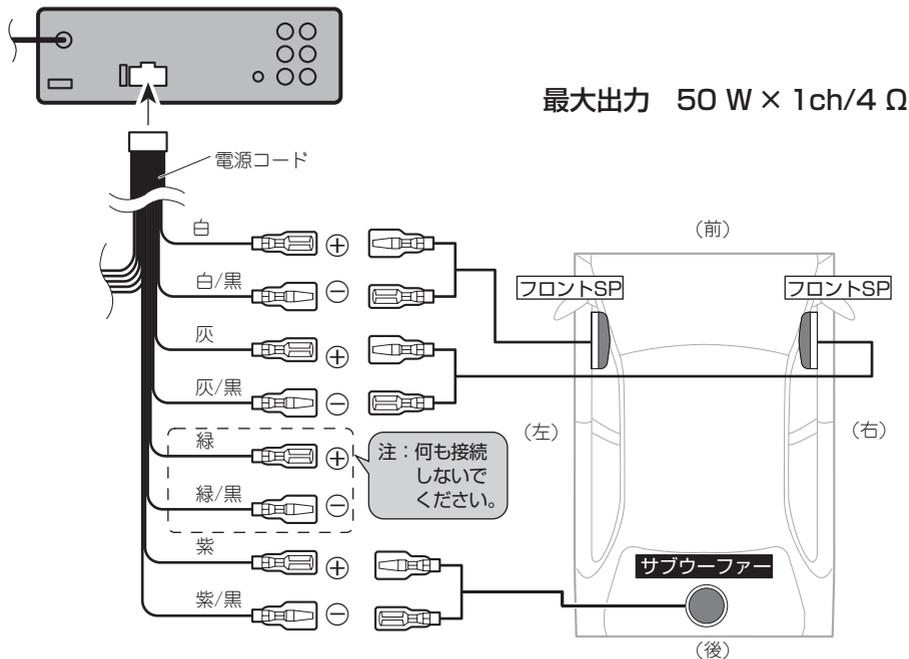
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
 (本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
 外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
 (12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)



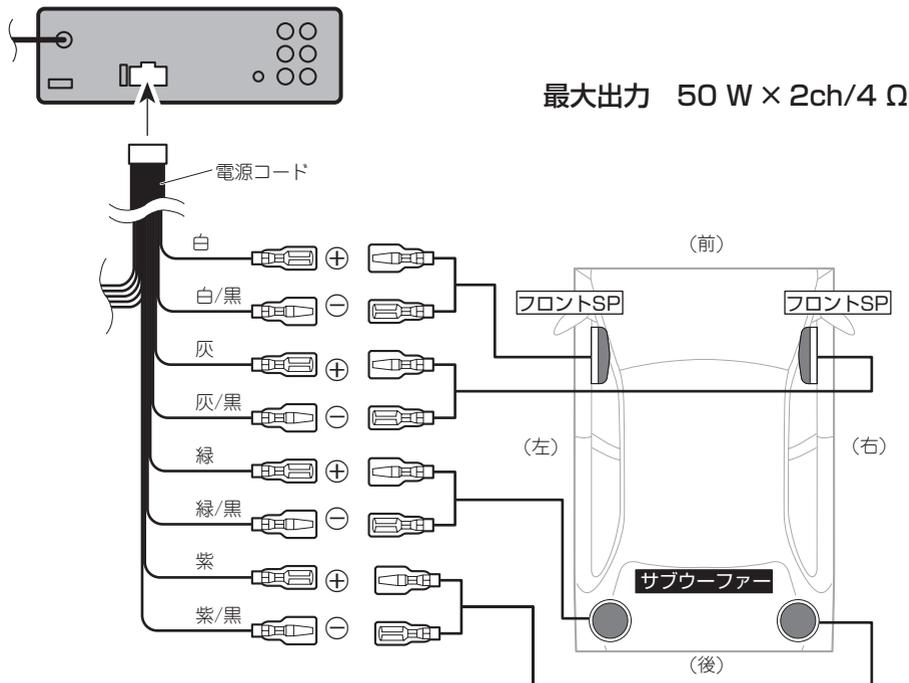
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

■ 本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合（1）

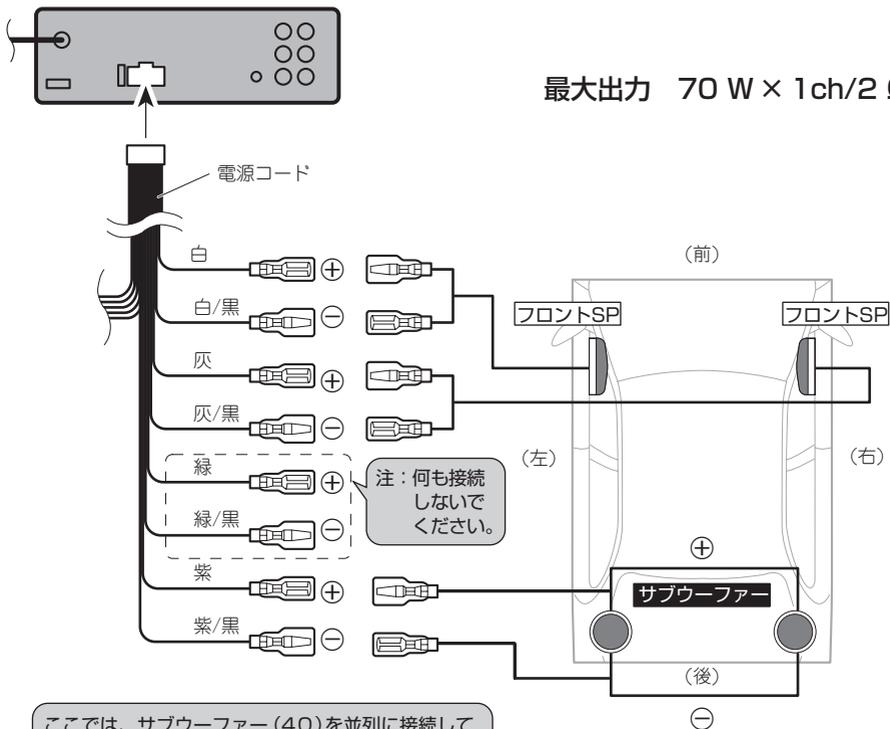


■ 本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合（2）



■本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)

最大出力 70 W × 1ch/2 Ω



ここでは、サブウーファー (4Ω) を並列に接続してサブウーファー (2Ω) として使用しています。

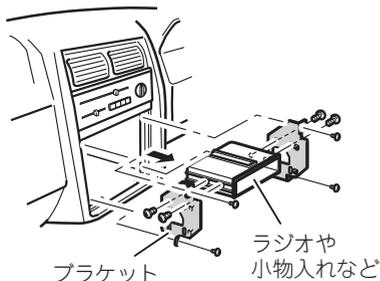
本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

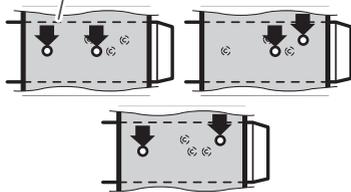
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



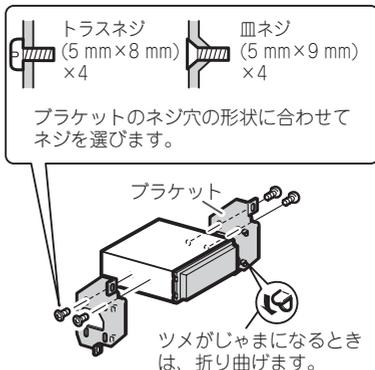
日産車の場合

日産車ブラケット



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



■ フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。操作方法は、P8 をご覧ください。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続／取り付けをもう一度確認する

- 接続／取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください（→ P7）。

再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア		
		CD-R/RW	USB	SD
WMA	.wma	○	○	○
MP3	.mp3	○	○	○
AAC	.m4a	○	○	○
WAV	.wav	○	○	○

WMA とは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

MP3 とは？ 「MPEG Audio Layer-3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

AAC とは？ 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

WAV とは？ 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

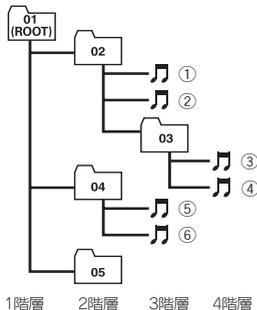
コーデック	フォーマット			
	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	32 kHz ~ 48 kHz	8 kHz ~ 48 kHz*	11.025 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz (LPCM 形式) 22.05 kHz ~ 44.1 kHz (MS ADPSM 形式)
ビットレート	CBR	48 kbps ~ 320 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps
	VBR	48 kbps ~ 384 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps

※サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

-  ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む WMA/AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- 曲間(トラック間)にブランクがない CD を、WMA/MP3/AAC/WAV ファイルとしてディスクに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- ID3 tag の Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、CD-R/CD-RW または USB 機器に記録して再生できません。
- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

■メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。ただしパソコンの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- WMA/MP3/AAC/WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA/MP3/AAC/WAV ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - CD-R/RW : 最大 99 フォルダー、最大 999 ファイル
 - USB/SD : 最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

ディスクについて

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけしないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- ・直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ・ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- ・走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- ・寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- ・高温になると保護機能が動き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて

- ・以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。

- DualDisc
- 8 cm ディスク (アダプター装着時も含む)
- CD 規格外ディスク
- ひび、キズ、反りのある CD



- 特殊形状のディスク



- シールなどを貼ったディスク



■再生できないディスクについて

- ・以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠していない CD-R/RW/ROM ディスク

USB 機器について

- ・USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- ・本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本機と組み合わせで使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- ・USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- ・USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- ・接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- ・USB ハブを使用しても接続には対応していません。

■保管上のご注意

- ・USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

SD カードについて

- ・本機はすべての SD カードの動作を保証するものではありません。
- ・本機と組み合わせて使用しているときに SD カードのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- ・SD カードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- ・お持ちのパソコンで認識している SD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SD カードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをすると SD 非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SD カードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ず SD カードデータのバックアップを作成してから行ってください。SD カードのフォーマットソフトウェアは、SD アソシエーションの以下ホームページより入手できます。
<https://www.sdcard.org/jp/>
(2012年8月時点転載)

- ・フォーマット作業による SD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負いません。
- ・フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの出し入れを無理に行うと、本機や SD カードが破損するおそれがあります。ご注意ください。
- SD カードの挿入口には、SD カード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因となります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因となります。

■ 保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 誤ってお子様や飲み込むなどのことがないように、取り出した SD カードは、お子様の手が届かないところに保管してください。



- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

■ iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ の設定を自動的に「オフ」にします。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続してコントロールモードを AUDIO にした場合、iPod のリビートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリビートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

iPod について

■ 本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

Made for

- 第 4 世代 iPod touch : Ver. 5.1.1
 - 第 3 世代 iPod touch : Ver. 5.1.1
 - 第 2 世代 iPod touch : Ver. 4.2.1
 - 第 1 世代 iPod touch : Ver. 3.1.3
 - iPod classic 160G : Ver. 2.0.4
 - iPod classic 120G : Ver. 2.0.1
 - iPod classic : Ver. 1.1.2
 - iPod 第 5 世代 : Ver. 1.3
 - 第 6 世代 iPod nano : Ver. 1.2
 - 第 5 世代 iPod nano : Ver. 1.0.2
 - 第 4 世代 iPod nano : Ver. 1.0.4
 - 第 3 世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
 - 第 2 世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
 - 第 1 世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
 - iPhone 4S : Ver. 5.1.1
 - iPhone 4 : Ver. 5.1.1
 - iPhone 3GS : Ver. 5.1.1
 - iPhone 3G : Ver. 4.2.1
 - iPhone : Ver. 3.1.2
- 以下の iPod では、コントロールモード (→ P20) は使用できません。
 - iPod 第 5 世代
 - 第 1 世代 iPod nano
 - 最新の情報についてはカロツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
 - 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
 - iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル (例: CD-IU51) が必要です。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください (→ P10)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (→ P22)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (→ P22)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください (→ P22)。
ディスプレイの表示がおかしい。	背景画面が設定されている。	お好みの表示を選んでください (→ P29)。
エンジンを切ったら警告音 (ブザー) が鳴る。	デタッチワーニングが ON になっている。	フロントパネルを取り外してください。フロントパネルを取り外さない場合は、デタッチワーニングを OFF にしてください (→ P26)。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください (→ P10)。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください (→ P10)。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください (→ P10)。
FM は受信するが、AM が受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください (→ P34)。
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

■ CD、WMA / MP3 / AAC / WAV

症状	原因	処置
CD 再生中、大きな雑音が出る。 CD の再生が途中で止まる。 CD が自動的に出てくる。	CD に大きなキズや反りがある。	CD を交換してください。 良くなれば、CD の不良です。
	CD が極端に汚れている。	CD の汚れをふき取ってください (→ P40)。
	CD に曇りや汚れがついている。	CD の曇りや汚れをふき取ってください (→ P40)。
	CD の裏表を逆にしてセットしている。	CD のレーベル面を上にしてセットしてください。

■ AUX

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器 (AUX) の音量を下げて いる。	外部機器 (AUX) の音量を調節してください。
	抵抗入り AUX ケーブルを使用して 接続している。	抵抗なし AUX ケーブルを使用して接続してください。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

■ 共通のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「AMP ERROR」	スピーカーの接続状態または本機に 異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチを OFF → ON してもメッセ ージが消えない場合は、販売店またはバイオニアカ スタマーサポートセンターにご相談ください。

■ CD、WMA / MP3 / AAC / WAV のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-07、11、12、17、 30」	CD が汚れているとき。 CD にキズやひびがあるとき。	CD の汚れをふき取ってください。 CD を交換してください。
「ERROR-15」	CD-R / CD-RW を録音しないまま 使用している。	CD-R / CD-RW は、録音してからお使いい ださい。
「ERROR-10、11、12、15、 17、30、A0」	電気系、機構系の故障が考えられる とき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、CD 再生を一度やめてから、もう一度 CD 再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットの CD- ROM を挿入した。	CD を交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていない CD-ROM を 挿入した。	WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの記録さ れている CD-ROM と交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデ ジタル著作権管理 (DRM) で保護 されている。	CD を交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権管理 (DRM) で保護 された WMA ファイルを再生した。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されてい ないファイルを再生してください。

■ USB のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USB コネクターまたは USB ケー ブルがショートした。	USB コネクター / USB ケーブルが何かにはさま っていないか、破損していないか確認してくださ い。
	規定 (→ P47) 以上の電流を消費す る USB 機器を接続した。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON に してください。次に、対応する USB 機器を接続し てください。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「NOT COMPATIBLE」	接続された USB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応の USB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
「PROTECT」	USB 機器内のすべてのファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9 / 10 で保護された WMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON する。 / 接続した USB 機器を一度外してから接続する。 / 別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 / FAT16 / FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、または FAT12 の USB 機器を接続してください。
「CHECKING ♪ TAGS」	Music ブラウズのためのデータベース、またはリストを構築している。	データベース、またはリスト構築が完了するまでお待ちください。

■ SD カードのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-23」	挿入された SD カードのフォーマットが、FAT32 / FAT16 / FAT12 ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、または FAT12 の SD カードを挿入してください。

■ iPod のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	iPod は動作するが、充電されない。	iPod ケーブルがショートしていないか (たとえば、金属物にはさまれていないか) 確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、iPod を一度脱着してください。
「NOT COMPATIBLE」	接続された iPod が本機に対応していない。	本機に対応した iPod を使用してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPod に問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されたら、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「ERROR-16」	iPod ソフトウェアのバージョンが古い。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
「ERROR-16」	iPod に問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されたら、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。 iPod に曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。 iPod に曲を転送してください。

■ Apps のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Start up and play your Application.	iPhone や iPod touch のアプリケーションが再生状態でないときに、本機で Apps 操作をしようとした。	iPhone や iPod touch のアプリケーションを再生状態にしてください。再生状態にしないと、本機での操作はできません。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。

お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標/著作権など

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。以下放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。以下放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

●iPod & iPhone



iPod, iPod classic, iPod nano, および iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

●SD

SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

主な仕様

● 共通部

使用電源：.....DC 14.4 V (10.8 V～15.1 V 使用可能)
アース方式：.....マイナスアース方式
最大消費電流：.....10.0 A

外形寸法

(取付寸法)：.....178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm
(ノーズ寸法)：.....170 (W) mm × 46 (H) mm × 18 (D) mm

質量：.....1.05 kg (コード含まず)

● アンプ／オーディオ部

最大出力：.....50 W × 4
70 W × 1 ch / 2 Ω (for サブウーファー)

定格出力：.....22 W × 4 (50 Hz～15 000 Hz、5 %
THD、4 Ω load、Both Channels Driven)

負荷インピーダンス：.....4 Ω
(4 Ω～8 Ω使用可能)
(4 Ω～8 Ω×2 + 2 Ω×1 使用可能)

プリアウト最大出力レベル：.....4 V
出力インピーダンス：.....1 kΩ

イコライザー (5 バンドグラフィックイコライザー)

周波数：100 Hz / 315 Hz / 1.25 kHz / 3.15 kHz / 8 kHz
調整幅：.....± 12 dB (2 dB step)

ラウドネスコンター

(LOW)：.....3.5 dB (100 Hz) 3 dB (10 kHz)
(MID)：.....10 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz)
(HIGH)：.....11 dB (100 Hz) 11 dB (10 kHz)
(ボリューム：-30 dB)

ハイパスフィルター

周波数：.....50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：.....-12 dB / oct

サブウーファー出力

周波数：.....50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz
スロープ：.....-18 dB / oct
調整幅：.....+6 dB～-24 dB
位相：.....NORMAL / REVERSE

バスブースター

調整幅：.....+12 dB～0 dB

● CD プレーヤー部

形式：.....コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク：.....コンパクトディスク
信号フォーマット

サンプリング周波数：.....44.1 kHz
量子化ビット数：.....16 ビット直線

周波数特性：.....5 Hz～20 000 Hz (±1 dB)
S/N 比：.....94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ：.....92 dB (1 kHz)
チャンネル数：.....2 (ステレオ)

MP3 デコーディングフォーマット：.....MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディングフォーマット：... Ver. 7、7.1、8、9、
10、11、12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

AAC デコーディングフォーマット：.....MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)

WAV シグナルフォーマット：.....Linear-PCM、MS
ADPCM

● USB 部

USB 規格：.....USB 2.0 Full Speed

最大供給電流：.....1 A

USB クラス：.....マストレージクラス

ファイルシステム：.....FAT12、FAT16、FAT32

MP3 デコーディングフォーマット：.....MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディングフォーマット：... Ver. 7、7.1、8、9、
10、11、12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

AAC デコーディングフォーマット：.....MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)

WAV シグナルフォーマット：.....Linear-PCM、MS
ADPCM

● SD 部

フォーマット：.....Ver.2.00

最大メモリ容量：.....32 GB

ファイルシステム：.....FAT12、FAT16、FAT32

MP3 デコーディングフォーマット：.....MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディングフォーマット：... Ver. 7、7.1、8、9、
10、11、12 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

AAC デコーディングフォーマット：.....MPEG-4 AAC (Ver.
10.6 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)

WAV シグナルフォーマット：.....Linear-PCM、MS
ADPCM

● FM チューナー部

受信周波数帯域：.....76.0 MHz～90.0 MHz

実用感度：.....9 dBf (0.8 μV/75 Ω、モノラル、S/N: 30 dB)

S/N：.....72 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：.....0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：.....30 Hz～15 000 Hz (±3 dB)

ステレオセパレーション：... 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

● AM チューナー部

受信周波数帯域：.....522 kHz～1 629 kHz

実用感度：.....25 μV (S/N: 20 dB)

S/N：.....62 dB (IHF-A ネットワーク)

● 付属品

コードユニット：.....1 式

取付ネジ類：.....1 式

取扱説明書：.....1

リモコン：.....1

リチウム電池 (CR2025)：.....1

保証書：.....1



・本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

・取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただきますことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかをご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2012

<KFWZX> <12G00000> <QRA3025-A/N>